



## 合同会社Smile Design Lab

高崎市



- ▶ 代表者: 小林 正史
- ▶ 設立年月日: 2020年11月24日
- ▶ 資本金: 100,000円
- ▶ 従業員数: 7人
- ▶ 住所: 高崎市鞆町18
- ▶ TEL: 027-329-6683
- ▶ Mail: info@smiledesignlab.jp
- ▶ URL: https://smiledesignlab.jp/ ※4月完成

当社HPへは  
こちらから→



### 企業紹介

環境問題コンサルタント事業部も立ち上げ、廃棄物やリサイクルを軸として「世界を変える」をコンセプトに『Change the World project』を始動しています。

自社ブランド【GOOD-OLD(グッドオールド)】からアップサイクル商品を展開して販売しています。企業様とアップサイクル商品開発の提案、環境保護を含めSDGsの推進にも力を注ぎ活動しています。

当社は働き方改革を軸とした、生産性向上のためのITツールや助成金、補助金申請のサポートを行っています。

※アップサイクルとは従来ならば不用品として廃棄処分される製品・道具を別の製品として生まれ変わらせることを指します。

### 経緯・背景

産業廃棄物の仕事を通し、「大量生産・大量消費」を肌で感じ、もっと地球に優しいこと、今抱えている廃棄物の問題を多くの方に知ってもらいたいと考え、アップサイクルをコンテンツに活動を起こしました。

2018年より中国が廃棄物の輸入規制に乗り出しました。今まで日本は50%以上を中国に頼っていましたが、輸入禁止となり非常に厳しい状況となっています。この先、廃棄物に対しても新たな企業活動が必須になると思います。

生産する側も消費する側も一人ひとりが意識しなければならぬ課題が浮き彫りになってきています。”少しの意識を変えることで世界は変わる”と思い活動を起こしました。

### 具体的な取組

当社は自社ブランドGOOD-OLDから「使わなくなったモノ」を「ワクワクするコト」へをキャッチコピーに、アップサイクル商品を展開しています。

「モノ」から「コト」へ。使わなくなった物(モノ)の価値を、新しい価値へ生まれ変わらせる事(コト)でその物の付加価値を高め商品化し、またワークショップ等の「体験」を通して、新たな価値観を感じていただきたいとの思いで取り組んでいます。

材料は取引をさせていただいている各企業様、個人様の使わなくなったものをレスキューし、使わなくなった物同士を融合させ一つ一つ手作りで制作しています。

各企業様の廃棄される物に対して、アップサイクルの提案をさせて頂き、企業様と一緒に取り組む商品開発を推進しています。各企業様にアップサイクルの開発提案をさせて頂いていますが、まず何故このような活動が必要なのかの説明をし、SDGsの意識の推進に取り組んでいます。廃棄だけの取組ではなく、企業様が今まで活動してきたことがSDGsであり、SDGsを意識して取り組んだら、さらに活躍できることがヒアリングして感じました。

当社は働き方改革=SDGsと捉え、SDGsのセミナー等の開催も積極的に取り組んでいきます。



クリエイター須貝賢一氏の「石×木」を組み合わせた温かみがあるハンドメイド商品「ストーンオールウッド」。



提携している家具職人 ROYAL WOODY BUSINESS の染谷佳史氏とコラボレーションアイテム「アップサイクル自転車」。他にも「アップサイクル家具」も展開しています。

### 成果・効果

アップサイクル商品「ストーンオールウッド」はコースター、お皿を商品化し四万のスパゲストハウス「ルルド」様、県内の飲食店5店舗に取り扱っていただいています。

また、四万スパゲストハウス「ルルド」様にSDGsについてのプレゼンテーションを行い、商品はもとよりSDGsへの関心を高めていただけ、「四万からSDGsの取組を広げて行こう」と、まずは食品ロスの問題にも取り組んでいただいております。

### 当社にとってのSDGsと、その展望

「一人の意識で世界は変わる」それがSDGsだと思っています。

17の目標は必ず一人ひとりに当てはまります。落ちていたゴミを拾ったり、ストローの使用をやめてみたり、食べ物を残さないようにしたり、SNSで環境のことを発信したり等、どれもSDGsへ繋がります。

企業にとってもSDGsはどのような取組をしたらいいかわからないのが現状ですが、個人が取り組むのと一緒に企業も小さなことから取り組めるはずです。

当社は個人、企業に対しても一緒に取り組むことで小さな活動を大きな運動へと変え、群馬県がSDGsに対して日本で一番実践している地域となるよう貢献します。

